

指導者 T1  
T2  
T3  
ALT

1 単元 PRAOGRAM6 A Work Experience Program

2 単元の目標

- (1) 〈to + 動詞の原形〉の形を用いての表現活動に積極的に取り組もうとする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 〈to + 動詞の原形〉を用いて、自分の考えを表現することができる。(外国語表現の能力)
- (3) 本文を読んだり聞いたりしてその内容を理解することができる。(外国語理解の能力)
- (4) 〈to + 動詞の原形〉の文の形・意味・用法を理解している。(言語や文化についての知識・理解)

3 指導にあたって

- (1) 生徒の実態（男子\*人，女子\*人，計\*人）

【学級アンケートから】 第2学年\*組 \*人（平成\*年\*月\*日実施）

英語の授業に対する取り組み方	良い *	だいたい良い *	あまり良くない *	悪い *
得意である活動（複数回答可）	聞く *人	話す *人	読む *人	書く *人
得意にしたい活動（複数回答可）	聞く * 4人	話す *人	読む *人	書く *人

本学級の生徒は、英語の授業におおむね集中して取り組んでいる。特に、既習内容を用いてのウォームアップや新出言語材料を用いての表現活動、教師への質問やインタビュー等のコミュニケーション活動に積極的に取り組める生徒が多い。しかし、アンケートの結果から、「書く活動」「聞く活動」は比較的得意である生徒が多いが、「読む活動」「話す活動」を得意とする生徒は少ない。そのため、基礎力の定着を図る反復練習や、「読む活動」「話す活動」活動に集中できない生徒が数名いる。

(2) 教材観

本題材は、主人公の由紀、武史、桃子が職場体験について、ALT の先生に体験談を話したり、スピーチをしたりする内容である。本学年の生徒は1学期に職場体験を行っており、内容のイメージをしやすい。その中でも由紀は保育園、武史はスーパーマーケットで職場体験するなど、親近感を覚える生徒も多いと考えられるため、生徒の興味をひきつけやすい単元となっている。新出言語材料は〈to + 動詞の原形〉であり、その形の理解とそれらを用いて表現に活用することをねらいとしている。

(3) 指導観

まず、新出言語材料である〈to + 動詞の原形〉を導入する際には、短い対話を聞いたり見たりすることで意味を推測させ、その答えを大いに称賛することでできる喜びを感じさせたい。次に、丸付け法を活用し、達成感を味わわせたい。また、グループ活動を通して本文の意味や内容を確認し合いながら使わせることで、新出言語材料の定着を図りたい。さらに、授業内外においてALT と交流を図れる場面を設定し、英語を使って交流できるという自信をもたせたい。座席面では、意図的編成グループなど、学習形態を工夫し、学び合いの場面を設定することで、達成感やできる喜びにつなげたい。

4 指導計画（5時間扱い）

次	時	学習活動	関	表	理	知	評価計画
							評価規準
1	①	My plan(補助教材)を活用して新出単語の意味調べなどの予備学習を行う。	○			◎	新出単語の意味と用法を理解することができる。 (My plan)
2	①	〈to + 動詞の原形〉の名詞的用法を用いて自分の好きなことを表現する。	○	◎			〈to + 動詞の原形〉の形を用いて、自分の好きなことを表現することができる。(My plan, 観察)
	②	〈to + 動詞の原形〉の副詞的用法を用いて行動の目的を表現する。	○	◎			〈to + 動詞の原形〉の形を用いて、行動の目的を表現することができる。(My plan, 観察)
	③	〈to + 動詞の原形〉の形容詞的用法を用いて、ものの用途を表現する。	○	◎			〈to + 動詞の原形〉を用いて、ものの用途を表現することができる。(My plan, 観察)
	④ 本時	本文の内容を理解する。			◎	○	本文の内容を理解することができる。 (My plan, ワークシート・発表)

5 本時の指導

(1) 目標

- ・本文を読んだり聞いたりしてその内容を理解することができる。(外国語理解の能力)
- ・〈to + 動詞の原形〉の文の形・意味・用法を理解している。(言語や文化についての知識・理解)

(2) 準備・資料

My plan(自作補助教材), フラッシュカード, TV, PC, デジタル教科書, 学習カルテ, ワークシート

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点(○は個への配慮)と評価
<p>1 あいさつをし、既習内容を用いてウォームアップをする。</p> <p>(1) FAST INPUT 重要語句を口頭で復習する。</p> <p>(2) WRITING TEST 重要語句を書いて復習する。</p> <p>2 本時の学習</p> <p>(1) 既出単語を確認する。 future, once, care, store, useful, important など</p> <p>(2) 本時の学習課題を導入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>グループでストーリーを読み解こう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I want to be a teacher.</li> <li>・ I went to the park to play tennis.</li> <li>・ I want something to drink.</li> </ul> </div> <p>(3) 前時の学習内容を確認し、口頭でパターンプラクティスを行う。(一斉)</p> <p>(4) 本文を聞いて、概要に関する問題に日本語で答える。 例 Q: ユキはどこに行った? A: 保育園</p> <p>(5) 本文の音読練習を行う。</p> <p>(6) グループで、本文の内容に関する問題を解く。 例 A: Where did Yuki work? B: She worked at a nursery school.</p> <p>3 本時のまとめをする。</p> <p>(1) パターンプラクティスを通して本時の課題を再確認する。</p> <p>(2) 学習内容をノートにまとめる。</p> <p>(3) 学習カルテを記入し、本時の学習を振り返る。</p>	<p>・英語であいさつをし、学習の雰囲気を作る。</p> <p>・学習ペアと簡単な暗記活動を行い、できるだけ口頭での練習をすることで、英語学習の雰囲気を作る。 ○英文を読むのが苦手な生徒に対しては、学習ペアや教師がアドバイスし、正しく答えることができたなら称賛をして自信をもたせる。</p> <p>・フラッシュカードに視線を集中するよう声かけをして、注意を促す。</p> <p>・生徒の集中力を高めるために、リズムカルかつスピーディーに行う。</p> <p>・生徒の関心を高めるために、本文の内容に関する導入においてパワーポイントを活用する。</p> <p>・全体での理解を確認するために、生徒を指名して発表させる。</p> <p>・パターンプラクティスはテンポよく行う。</p> <p>・新出表現である〈to+動詞の原形〉の意味に関して前時の活動を想起させ、内容理解にスムーズに入れるようにする。</p> <p>・学習意欲の向上を図るために、リスニング終了時に問題の正解数を聞き、習熟度に合わせて称賛する。</p> <p>・音声のみで答えることが難しい生徒には、教科書を見て解答できるよう助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(評) 本文の内容を理解することができる。 (My plan, 発表)</p> </div> <p>・できる喜びや達成感を味わわせるために、課題に積極的に取り組んだ生徒を称賛する。</p> <p>・学習を円滑に進めるために、グループ活動の形態に変える。</p> <p>○英語が苦手な生徒を中心に、T2 や ALT がアドバイスをすることで支援する。</p> <p>・課題を積極的に行っている生徒やグループを賞賛することで、自信と学習意欲を高める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(評) 〈to + 動詞の原形〉の文の形・意味・用法を理解している。(My plan, ワークシート, 観察)</p> </div> <p>・テンポよくスピーディーに行う。</p> <p>・意欲ある取り組みを認めて積極的に称賛する。</p>

